


【定例】

提出 令和5年9月4日

山行報告書

山行報告者： 佐藤ゆ

| | |
|---|--|
| 山域・山名： 四郎岳（四郎沢遡行） (2156m) 群馬県 | |
| 入山日： 令和5年9月3日(日) 日帰り 帰宅予定日： 9月3日(日) | |
| プラン担当者 正：中村 副：佐藤 | |
| 参加者 |  |
| 参加者 L：中村 報：中村 記：佐藤ゆ 鈴木、山崎、金澤、久保 高山、鎌田 男 5名 女3名 計8名 | |
| 天候 晴れ | |
| 9月3日 (日) | 集合場所：大宮駅 午前 6時 |
| | 大宮発 6：10→関越道沼田 IC →9：40 丸沼駐車場 →12：14 四郎峠 12:51→14：28 丸沼駐車場 →19：10 大宮駅 |
| 荒天候時のエスケープルート：途中で引き返す | |

| | |
|------------------|---|
| 装備と食糧特記事項 | 個人装備： ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、ストック、水、着替え、ヘルメット、ハーネス、沢靴、替え靴、スパッツ シュリング(2, 3本)、カラビナ(数枚) |
| | 共同装備： ツウェルト(3)、ロープ(20m) |
| | 個人食： 3日昼食 |
| | 車提供 鈴木、中村 |

感想 & 注意事項

歩き始めてすぐに小川があり、すぐに入渓したが、堰堤に突き当たってしまい、右側から巻く。その後も残り3つの堰堤を超えて、正式に入渓。
水量は期待していたよりかなり少なく残念に思ったが、途中からナメになり、喜んでどんどん進む。すると、二股で左に行かなければいけなかったところを誤って右側に（ナメをどんどん登って）来てしまった模様。引き返し、急だが左側に登れるところを見つけ、そこから左側の山道に合流できた。
もう沢がなさそうというところで、沢靴から登山靴に履き替える。そこからはかなりの急登で、苦労しながら登る。
途中、すれ違う下山者が「四郎峠からはものすごい急登だよ」という。四郎峠「からは」と言っていたけど、四郎峠「まで」が急登なので、「まで」という意味では、と思いながら登り進める。
だいぶ四郎峠に近づいたところで、また別の下山者とすれ違い、やはり「四郎峠からはひどい急登だ」という。確かに地図を見てもヤバそうだな……。しかも眺望も全くないとのこと。
四郎峠に着いたところで時間が押してしまっていた。それと下山者の話や、夕方に雨が降る恐れもあったため、無理せずここまでで中断することとした。
ここを本日の山頂とし、休憩を取り、下山。
下りは沢靴に履き替えずに登山道をつたって下山。登山口を出たらものすごい日差しで暑く、やはり沢の中や登山道は涼しかったのだと思った。
計画してくださった中村様、ご一緒してくださった皆様、ありがとうございました。